

患者さんへ

集中治療室退室後の投与エネルギー量の違いによる入院日数の変化

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2023年1月～2023年6月に当院で集中治療室管理が必要と判断され、当院の集中治療室に2日以上入院された方。
2 研究目的・方法	集中治療室で治療を受けた方を対象として、既に得られている診療録の情報から「集中治療室退室時よりも退室後の栄養投与カロリーが減少すると、入院が延長するか」を調査します。本研究により、集中治療室入室中のみならず、集中治療室退室後の栄養管理を強化することで、早期退院が期待できる可能性があります。 研究の期間:施設院長許可(2023年12月予定)後～2024年6月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	<ul style="list-style-type: none">● 集中治療室退室後の入院日数● 集中治療室入室後の栄養開始時間● 患者背景(年齢、性別、体重[集中治療室入室時・集中治療室退室時 等]、疾患名、既往歴、合併症 等)● 栄養投与量 [集中治療室退室時、退室1週間後 等]● 臨床検査結果(血清アルブミン値、C-反応性蛋白値、総コレステロール値 等) [入院時、集中治療室入室時、集中治療室退室時、退院時 等]
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 札幌東徳洲会病院 栄養科 藤田 絵里(研究責任者) 住所:札幌市東区北33条東14丁目3番1号 電話番号:011-722-1110(代表)